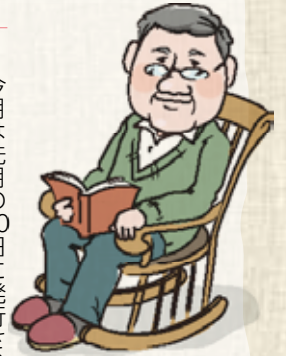


「犬から見た世界」



著者：アレクサンドラ ホロウィッツ
訳：竹内 和世
発行：白揚社
ISBN：9784826990510
2012年3月発売 ￥2,625



今月は先月の30日に発行されたばかりのアレクサンドラ・ホロウィッツ著の「犬から見た世界」を紹介します。著者は犬の認知行動学の研究で認知科学の博士号を取得した、動物認知を専門とする心理学者です。各章の冒頭には著者と17年間ともに暮らした愛犬パンプについて、愛情あふれる詩的な文章で紹介していて、ともすれば難解な専門書になりがちな本書を、親しみやすく、読み易いものにしてきています。「嗅ぐ」の章では犬の嗅覚についてこのように述べています。「人間の嗅覚システムは環境内の匂いに順応してしまつので、朝のコーヒーを淹れる最初の素敵な匂いも、生ゴミから発生する胸が悪くなるような腐った匂いも、一カ所にとどまっていれば、どんな匂いも薄れていき、しまいにほとんど気づかれなくなつてしまふ。犬の場合は、その嗅ぎ方式のおかげで、まわりの嗅覚地図に順応するのを避けることができる。彼らはたえず鼻の中で匂いをリフレッシュしつづけているのだーあなたも視線をたえず動かしてくりかえし見続けているように。」大多数の犬は長いマズルを持ち、匂いが鼻に吸い込まれると、おびただしい細胞組織が大喜びでそれを受け入

れます。鼻の内側の組織は、小さな嗅覚受容体細胞で一面に覆われています。人間の鼻には約600万の嗅覚受容体があり、ボーダーコリーは2億以上、ビーグルの鼻には3億以上の嗅覚受容体があります。受容体の数のみならず、嗅細胞にかかわる遺伝子の数や、細胞そのものの数や種類も多く、検知できる匂いの種類もケタ違いで、ビーグル犬にくらべれば人間は完全に嗅覚欠如症であり、全く匂いを感じないに等しい、とまで述べています。理論的にはスプーン一杯の砂糖を、オリンピックプール2個分の水で薄めても犬はそれを検知することが出来るというレベルだそうです。「このような嗅覚をもつということ、は、どんなふうなのだろうか？わたしたちの視覚世界のあらゆる細かな部分が、匂いと組み合わさっているとしたら？薔薇の花びらはどれも違った香りがする。虫が訪れて、遠くの花の花粉の足跡をつけていったかもしれない。たった一本の茎が、だが、そしていつ、それを持つたかという記録を保持しているというの、いったいどんな感じだろうか。」人間の環世界に生きる我々が、我々と全く異なる犬の環世界を理解することは容易なことではありませんが、この本は我々を「犬から見た世界」に導いてくれます。そして、読み進むにつれてその想像力はどんどん膨らんでいくのです。

今月の保健所だより

「犬や猫を飼いたいと
考えている方へ」

郡山市保健所には年間を通じ多くの犬や猫が保護収容されます。これから犬や猫を飼いたいと考えている方、保健所からの譲渡（譲り受け）を考えてみませんか？

譲渡の対象となるのは、保護収容後、一定の期間を過ぎても飼い主が見つからなかった、または、飼い主が殺処分依頼をしてきた犬や猫です。

郡山市保健所では不幸な犬や猫を増やさないために、次の条件を満たすことができる方に譲渡を行っております。

【譲渡の条件】

- ① 犬や猫を適正に終生飼養できること。
- ② 譲渡後1年以内に不妊又は去勢手術を受けさせること。
- ③ 犬や猫の飼養について、同居者全員の同意が得られていること。
- ④ 飼養予定場所が、犬や猫を飼養することが禁止されている場所（動物飼養不可のマンション等）でないこと。また、犬や猫を適正に飼養できるスペースが確保されること。
- ⑤ 猫は完全室内飼いができること。

特に**成犬及び成猫の飼い主を募集**しています。詳しい内容は下記連絡先にお問い合わせください。

【狂犬病予防注射について】

飼い犬への狂犬病予防注射は毎年4月から6月の間に受けさせることとなっております。昨年は震災により注射時期の変更が認められましたが、今年も例年通りとなりますので、期間内に受けさせてください。

問い合わせ先 郡山市保健所生活衛生課動物愛護係 〒963-8024 郡山市朝日2丁目15-1
☎024・924・2157 ☎024・934・2860 E-mail: sei-eisei-aigo@city.koriyama.fukushima.jp